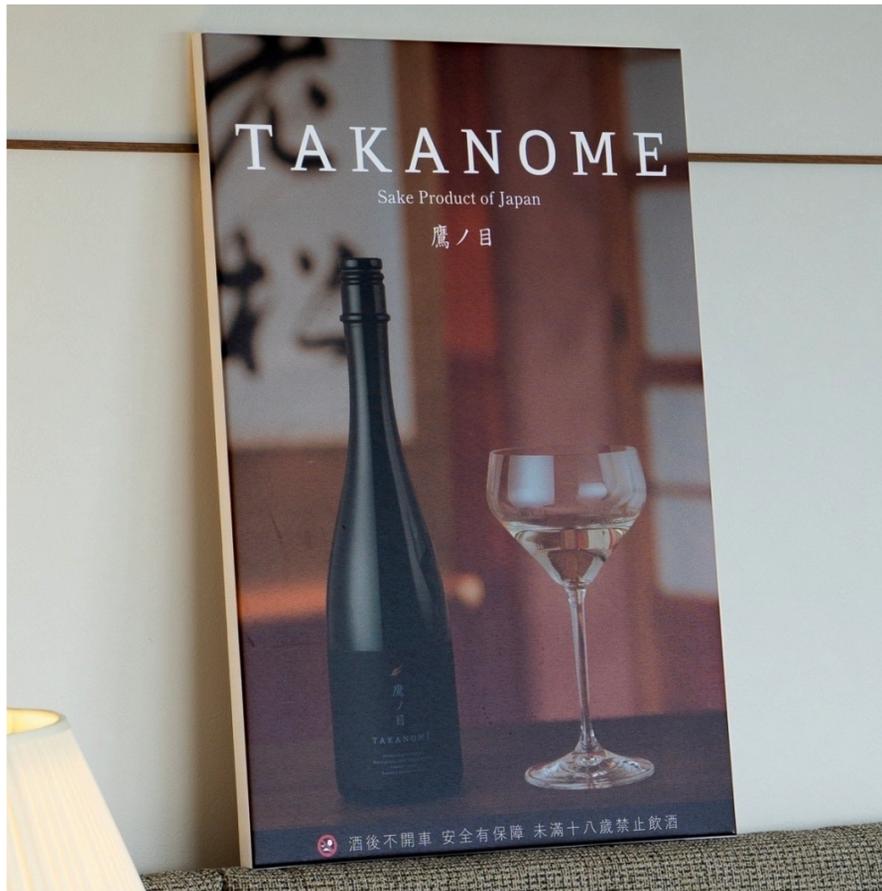


高級日本酒ブランド TAKANOME
台湾で唯一の日本現代美術展「art IJ 2024」に協賛
- 7/26~7/28の3日間 VIPルームでお酒を提供 -

株式会社Forbul（本社：東京都港区、代表：平野晟也）が運営する高級日本酒ブランド「TAKANOME」は、2024年7月26日(金)から3日間開催された、Infinity Japanが運営する台湾で唯一の日本現代美術展「art IJ 2024」にて協賛をしました。VIPルームにてお酒も提供。アート展には1000人以上の来場者が訪れ、大盛況で終了しました。



「art IJ 2024」は、台湾で唯一の日本現代アート展です。2013年より「最高峰の日本の現代アートを紹介する」というテーマを掲げ、日本全国のギャラリーを台湾に招待し開催しています。

地域や各ギャラリーの特色を生かした日本の現代美術の発信を目指し、今年も東京、大阪、京都、神戸、奈良、鎌倉、福岡など様々な地域からギャラリーが参加しました。

TAKANOMEは、2019年「うまさ」のみを追求するという信念を持って誕生した日本酒ブランドで、創業以来『日本酒を通じた、文化の発展への貢献』をブランドの使命と考え、様々な取り組みを行なっています。今回は、日本の現代アートと共に、日本酒の文化を台湾の皆様にご体験いただくため協賛を実施。VIPフロアでは実際に日本酒も提供しました。

今後も台湾において、日本酒の魅力を広めるための活動を積極的に行っていく予定で、日本酒を通じて、台湾と日本の文化交流をさらに深め、両国の絆を強めていくことを目指していきます。

なお、現在台湾では、ミシュラン店などを含む30店舗以上の飲食店で、TAKANOMEを楽しむことができます。今後、さらに多くの場所でTAKANOMEの日本酒をお楽しみいただけるよう、販売網を拡大していく予定です。



会場内に設けられた特別フロアで日本酒を提供。アート関係者や協賛企業のお客様など様々な方が、アートと共に、TAKANOMEを堪能。台湾では、現在ミシュラン2つ星で「Asia's 50 Best Restaurants」にランクインするLogyや、Sabi、鮨 Tsuyoshiなど台北や台中のハイエンドレストランや日本料理店で展開中です。

art IJについて



2013年の初開催以来、日本の現代美術の発信を継続的に行なっている。台湾と日本の視覚芸術の異文化交流のプラットフォームを提供することに尽力している。博覧会に合わせてさまざまな文化イベントも開催され、日本の現代美術をさまざまな形で体験できる企画も制作している。

■公式HP：<https://www.ijartshow.com/index.html>

■公式Instagram：https://www.instagram.com/infinity_japan/

TAKANOMEについて

2019年、「うまさ」のみを追求するという信念を持って、山口県の老舗酒蔵“はつもみち”と共同開発し、誕生した高級日本酒ブランドです。「日本酒」という職人が作る作品を通じ、日本の文化の美しさと深みある伝統を伝え、世界中のライフスタイルを彩るラグジュアリーブランドを目指しています。パイナップルのような香りと味わいが特徴で、ミシュランのシェフや、5つ星のホテルソムリエからも高い評価を得ています。

『鷹ノ目』の酒銘は、鷹のごとく高い視点から物事を捉え、既存の固定概念に捉われない新たな日本酒の価値を生み出し、世界に羽ばたく日本酒でありたいという思いが込められています。

■公式HP：<https://takanome-sake.com/>

■公式Instagram：<https://www.instagram.com/takanome.sake/>

<報道関係者様 お問い合わせ>

株式会社Forbul 広報担当：岩崎 TEL: 080-4809-4624 E-mail: iwasaki@forbul.net